

子ども観光大使による テーマ別着地型観光資源の研究開発と観光マップづくり事業

特定非営利活動法人 NPO さんじょう

【事業概要】

少子化と超高齢社会の進行に加え、若年層を中心とした大都市圏への人口流出と低出産率などにより、地域では急速な人口減少が進み、消滅可能性都市としての危機感が高まっている。

若年層の地域定住促進には雇用や教育環境などの生活基盤強化がもちろん重要ではあるが、一方で、豊かな自然環境の活用や特色のある地場産業の振興など、担い手育成活動による、地域に対する愛着形成の取り組みも重要であると考えます。

そこで、地域や NPO 等が保有する多様な資源やノウハウを活用して、子ども達に魅力ある歴史や文化、産業や自然などの観光資源を体験させることで『子ども観光大使』として次世代の担い手意識を高める活動に取り組む。

また、地域コミュニティや NPO 等の協働によりこれを分析し、付加価値の高い体験・交流型の着地型観光ルートを研究開発、情報発信する事により、交流人口の増加を促進する基盤整備に取り組み、以って、地域の活性化や持続可能なまちづくりに資する。

【事業内容】

対象は主に三条市の小学生児童（約 5,500 人）とその保護者
地域コミュニティや NPO 等と協働し、多様な体験活動を研究開発
開催回数 10 回／年、参加者 300 人／年を目標に実施
参加した小学生を三条の『子ども観光大使』に任命し、認定証を交付
年間を通して体験・研究・情報収集した観光資源をリーフレットで配布

【事業特徴】

市民活動団体や地域コミュニティの中間支援組織としてのネットワークを活かす
主体的に協働できる現役の小学校教員と連携する
地域資源の保存や活用に取り組んでいる地域コミュニティや NPO 等と連携する
2020 年の東京オリンピックで来日する外国人観光客のガイド対応を研究する
子ども・親子で楽しめる体験・交流型の観光リーフレットを作成・発行する

【実施報告①】

『子ども凧（いか）合戦』

と き：平成26年6月8日（日）9:30～10:30

ところ：三条市かわまち交流拠点施設（交流広場、三条市水防学習館）

協働先：三条凧協会、TOSS SANJO

対象者：小中学生約200名

内容：三条凧（いか）合戦と同時開催された子ども凧（いか）合戦に参加した小中学生に三条凧（いか）合戦の由来を紹介し、凧をあげた子どもに認定証を手渡した。



【実施報告②】

『ただ郷・北五百川の棚田体験』

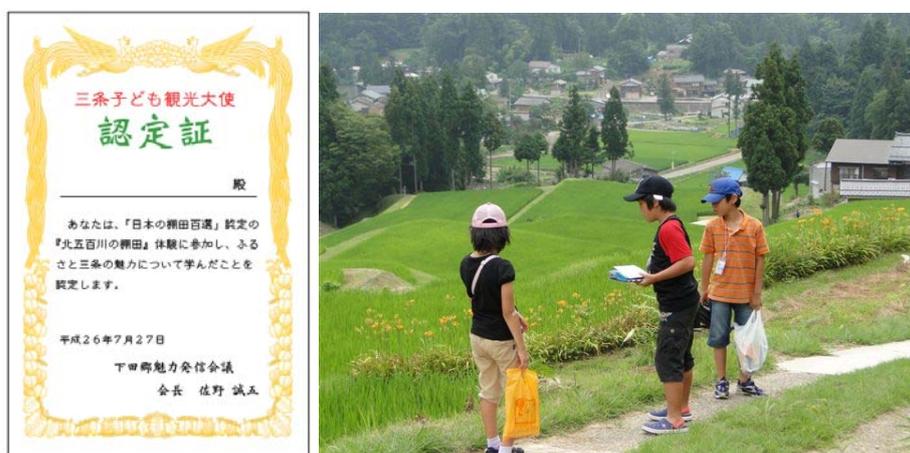
と き：平成26年7月27日（日）13:30～14:30

ところ：三条市下田北五百川

協働先：三条市子ども会連合会、TOSS SANJO

対象者：小中学生25名

内容：三条市の下田地区北五百川にある棚田は日本棚田100選に登録されている景勝地である。その棚田に小中学生25名が、オーナーの佐野さんのガイドで、三条の米作りの歴史や地産地消の大切さを学んだ。参加者には認定証を交付した。



【実施報告③】

『三条防災ステーション こども体験ツアー①』

と き：平成 26 年 8 月 8 日（日）9:00～10:00

ところ：三条市かわまち交流拠点施設（交流広場、三条市水防学習館）

共催先：三条市教育委員会、NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク

対象者：小中学生 54 名

内容：小中学生 54 名が NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワークの指導者にガイドされ、水害の歴史や災害に対する備えの重要性を学んだ。参加者には認定証を交付した。



【実施報告④】

『三条防災ステーション こども体験ツアー②』

と き：平成 26 年 8 月 21 日（木）9:00～10:00

ところ：三条市かわまち交流拠点施設（交流広場、三条市水防学習館）

共催先：山水会、特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

対象者：小中学生 46 名

内容：小中学生 46 名が三条市水防学習館の施設長にガイドされ、水害の歴史や、災害に対する備えの重要性を学んだ。参加者には認定証を交付した。



【実施報告⑤】

『子ども大名行列体験』

と き：平成 26 年 9 月 15 日（日）10：00～13：00

ところ：八幡宮公園～鍛冶道場

協働先：三条歴史文化担い手育成会、TOSS SANJO

対象者：小学生 80 人、幼児 20 人、保護者関係者 100 人、合計約 200 名

内容：三条市で一番規模の大きい「三条祭」伝統の大名行列を、子どもだけで再現する「子ども大名行列」体験に幼児・児童約 100 名が参加し、八幡宮公園～鍛冶道場まで練り歩いた。参加者には認定証を交付した。



子ども大名行列



親子でぶどう狩り体験

【実施報告⑥】

『おいしい果物に舌鼓子ども果樹体験』

と き：平成 26 年 9 月 20 日（土）10：00～11：30

ところ：渡辺果樹園

協働先：渡辺果樹園、TOSS SANJO

対象者：小学生親子 6 1 名

内容：渡辺果樹園の渡辺オーナーをガイドに、三条の果樹について学び、親子でぶどう狩りを体験した。参加者には認定証を交付した。

【実施報告⑦】

『金物のまち 子どもまちあるき体験』

と き：平成 26 年 10 月 5 日（日）10：00～11：30

ところ：白井産業～金山神社

協働先：白井産業、TOSS SANJO

対象者：小学生親子 3 3 名

内容：白井産業さんの鍛冶工場を見学し、小学生親子 3 3 名が三条のものづくりについて学んだ。また、金物の神様が祭られた金山神社までまちあるきをし、鍛冶のまちの歴史を学んだ。参加者には認定証を交付した。



鍛冶工場見学

【実施報告⑧】

『子どもりんご収穫体験』

と き：平成 26 年 11 月 1 日（土） 8：30～12：00

ところ：三条市農業体験交流センター・サンファーム三条

協働先：TOSS SANJO、ジュニアリーダーズクラブ三条

対象者：小学生親子 1 2 6 名

内容：小学生親子 1 2 6 名が三条の農産物について学び、王林とふじの 2 種類のりんごを収穫し、試食によって味の違いを体験した。参加者には認定証を交付した。

【実施報告⑨】

『河井継之助の八十里越冒険』

と き：平成 26 年 9 月 28 日（日） 8：30～13：30

ところ：下田地区吉ヶ平

協働先：ただの里、TOSS SANJO

対象者：小学生親子 1 1 名

内容：河井継之助の八十里越の入り口の里である吉ヶ平の散策に小学生親子 1 1 名が参加し、河井継之助の八十里越の歴史や、豊かな自然や里山を保存する大切さを学んだ。参加者には認定証を交付した。

【実施報告⑩】

『雪中！雪そり・宝さがし大会』

と き：平成 27 年 2 月 22 日（日） 10：00～13：00

ところ：道の駅 漢学の里 ただ

協働先：道の駅 漢学の里 ただ、ただの里、TOSS SANJO

対象者：小学生親子 7 2 名

内容：道の駅 漢学の里 ただを会場に、小学生親子 7 2 名が雪そりやかんじき体験、雪中宝探しゲームに取り組み、冬に地域で体験できる昔遊びやものづくりの文化を学んだ。参加者には認定証を交付した。



子どもりんご収穫体験



河井継之助の八十里越冒険



雪中！雪そり・宝さがし大会

【実施報告⑩】

『観光チャレン&オリジナル観光マップづくり』

と き：平成 27 年 3 月 22 日（日） 10：00～12：00

ところ：三条市かわまち交流拠点施設（三条市水防学習館）

協働先：TOSS SANJO

対象者：小学生親子 2 3 名

内容：今年度、子ども観光大使事業に参加した子どもを対象に実施。観光チャレンでは、三条名産の車麩のお皿移しゲームや三条産品の野菜を使い重さあてゲームに取り組んだ。また、オリジナル観光マップづくりワークショップでは、親子で三条の観光マップに自分の体験記録や感想を記入し、オリジナル観光ガイドマップを完成させた。参加者には子ども観光ガイド認定証を交付した。



観光チャレン



ワークショップでオリジナル観光マップづくり

【まとめ】

子ども観光大使認定者数年間述べ 5 0 0 名を超える子どもを認定し、魅力ある地域資源の体験と学習を支援できた。

効果・成功点 としては、多様な地域コミュニティや NPO との連携がうまくいき、様々なテーマで実施することができた。

課題・反省点としては、外国人観光客への対応として英語の説明を小学生に学ばせようと企画したが、英語の学力がまだ未熟だったり、当日の学習時間のねん出が難しかったりし、教員の判断で中止した。

次年度以降も引き続き多様な地域コミュニティや NPO との連携し、子ども観光大使養成事業に取り組んでいく予定。